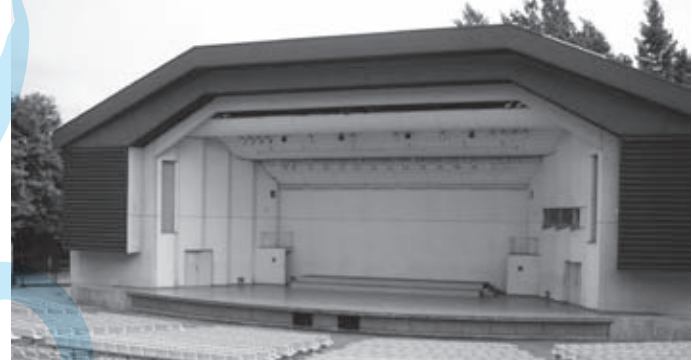


大阪市立 大阪城音楽堂



収容人数 約3,000人(椅子席1,945名)

大阪城音楽堂は、昭和57年5月、天王寺音楽堂に代わって大阪城公園内に開館しました。緑に囲まれた建物は公園の景観と調和し、約3,000人の収容能力があります。

音響・照明設備を備え、大阪市音楽団主催の「たそがれコンサート」をはじめ、音楽、講演会など、各種の催しに広く利用されています。平日など舞台の利用がない場合は、リハーサル室のみの利用もできます。

お問合せ 大阪市音楽団事務所

〒540-0002 中央区大阪城3-11 大阪城公園内
TEL 6947-1197 FAX 6947-5731

交通アクセス

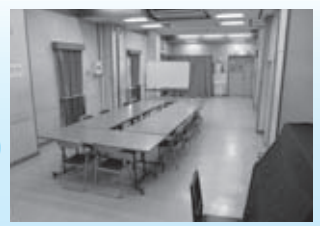
JR環状線森ノ宮駅から徒歩5分
地下鉄森ノ宮駅1号出口から徒歩3分

休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌日以降の最初の平日)
及び年末年始(12月28日～翌年1月4日)



会議・コーラス・ダンス・楽器練習に音楽堂リハーサル室をご利用ください



音楽堂2階 リハーサル室(77.6㎡)

リハーサル室のみの利用の場合

利用料金	平日昼間(9:30~16:00)	2,900円
	平日夜間(17:00~21:00)	4,200円 [土・日・祝は別料金]
	平日全日(9:30~21:00)	7,000円
申込期間	使用日の1か月前の月の初日から2日前まで	
申込方法	来場して「使用許可申請書」に必要事項を記入。 [音楽団HPから「許可申請書」(仮)をダウンロードして FAXで仮申し込みが可能。]	

空き情報など詳しくは、音楽団ホームページ
(<http://www.shion.jp>)「音楽堂」をご覧ください。

大阪市音楽団 第102回定期演奏会

青春の吹奏楽
～懐かしい青春の日々が今再び～

2011年6月10日(金)

19:00開演(18:00開場)
ザ・シンフォニーホール
(JR「福島」、市バス「大淀南一丁目」)



指揮に市音初登場となる現田茂夫氏を迎え、1960年代から70年代にかけて話題となった作品や、吹奏楽コンクールをきっかけに一躍重要なレパートリーとなった曲の数々を演奏します。すべての吹奏楽人が経験する作品たちをお楽しみください!

S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円
学生席:1,000円(大学生以下)
ペア席:5,000円(A席56組限定)
親子ペア席:4,000円(高校生以下の子どもとその保護者・A席68組限定)
※S、A席は当日500円増
※学生席、ペア席、親子ペア席は音楽団のみで発売
※未就学児の入場不可

【プログラム】
吹奏楽のための「大阪俗謡による幻想曲」
大栗 裕
交響的断章
ヴァーツラフ・ネリベル
アルメニアン ダンス パート1
アルフレッド・リード

★チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード129-736)
★ローソンチケット 0570-000-407(Lコード56608)
★ABCチケットセンター (ザ・シンフォニーホール内) 窓口のみ
★大阪市音楽団 6947-1195(月~土 9:00~17:30)



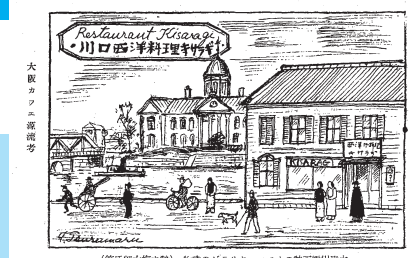
おおさか歴史探訪 ④6

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

カフェ・キサラギ ー大阪で最初のカフェー

大阪の文明開化は、海外の貿易商などの居住地として開放された川口の居留地から始まりました。現在は大きく姿を変えていますが、川口教会の建築に往時の姿を窺うことができます。この川口教会のそばに、明治45年(43年とか44年という説もある)、大阪で最初に(わが国では東京のカフェ・ブランタンに次ぐ2番目)、カフェの名を冠してカフェ・キサラギはオープンしました。

2階建ての洋風建築で、板敷きの部屋の中央にストーブがあり、その周囲にテーブルとイスが並んでいたといいます。外観、内装は当時よく見かけた洋食店とあまり変わらないものだったようですが、まだ見ぬ巴里や伯林のカフェにあこがれた芸術家や文化人(の卵たちは)、このカフェに集まりました。「プライム会」という月1回の例会も開催され、食満南北(歌舞伎作者)、鍋井克之(洋画家)、小出権重(同)、ももた そうじ、百田宗治(詩人)などなど、多くの人たちが集まり熱く議論をかわしたそうです。会の終了後は、ガス燈のほの暗いあかりのなかアカシアの並木道を歩き、古風な西洋建築や遠くから聞こえてくる外航船の汽笛など、エキゾチックな感傷にひたったものだと思います。



右側の建物がカフェキサラギ(「上方」第27号、1933年より)

